

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	027	自然環境の保全の推進				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			主担当部課名	生活環境部 環境政策課
	基本施策	01	自然・生態系の保護と回復			
めざす姿	浅間山、府中崖線、けやき並木や多摩川などの身近な自然環境を次の世代に受継ぐべき貴重な資産として認識し、生物多様性の維持・回復に努めたことによって、豊かな自然の恵みを受けることができる自然共生社会の実現が図られています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	4,848,000	6,390,000	4,884,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	1,200,000	0			
市債	0	0	0			
その他	506,000	506,000	506,000			
一般財源	4,342,000	4,684,000	4,378,000			
予算現額	4,848,000	6,390,000	0			
決算額	4,447,239	5,535,755	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	1,014,400	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	3,953,939	4,022,731	0			
執行率	91.7	86.6	0.0			
(人件費)						
職員数	4.19	3.90	0.00			
職員人件費	33,514,663	29,412,700	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	399,582	307,766	0			
総コスト	38,361,484	35,256,221	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
自然観察会や体験学習へ参加したことがある市民の割合	8.4	実績	15.6	-	-	-	20
	%	達成率	78.0	0.0	0.0	0.0	
水辺の楽校に参加した児童の人数	1,662	実績	1,615	-	-	-	2,000
	人	達成率	80.8	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

調査員による動植物生息調査を継続的に実施し、自然保護意識の普及・啓発することを目的に、自然観察会及び学習会を実施し、参加者は増加している。水辺の楽校は年を追うごとに活動も周知され、事業内容が充実していることから参加者は増えているが、市内の児童数も増えているため前年度実績値と比べて参加率は下がっているものの計画値は達成している。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	子ども達が多摩川で楽しみ遊びながら水辺の安全ルールを身に付け、日頃できない自然とのふれあい体験活動を行った。また、小学校の総合学習の時間において実行委員が支援協力した。			
達成できていない点	市からの財政的な支援だけでなく、民間からの助成や協賛を受けたり、民間活力を活用するなど、安定的に財源を確保する必要がある。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>(1) 自然保護啓発普及事業 自然保護意識を高めるための普及啓発活動の一環として実施し、小中学生より多数の応募がある。優秀な作品については、表彰している。最優秀作品を活用して、啓発ポスターを作成し、継続して自然保護啓発をしている。</p> <p>(2) 自然環境調査員活動事業 市内の自然環境を保全するにあたり、市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査を行う市民等の活動を支援している。</p> <p>(3) 水辺の楽校 水辺の体験活動を通して豊かな人間性を育むため、水辺の楽校への支援を行い、回数を増やすごとに参加者も増加している。また、小学校の総合学習の支援を継続的に行うことによって協力関係が図られるなど、事業内容も充実してきている。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>浅間山、府中崖線、けやき並木や多摩川など身近で貴重な自然環境を保全するために、今まで以上に市民意識の啓発や自然とふれあう機会を提供する必要がある。</p> <p>小中学校での緑化教育や実践活動を充実させていく必要がある。</p>
今後の展開
<p>自然環境調査員会議や水辺の楽校など市民や市民団体が主体となった自然保護活動を充実させる。多くの市民や市民団体が強い関心を持ち、自然観察会や体験学習への参加・実践できる仕組みを作っていく。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
自然保護啓発普及事業	▼自然環境学習会の開催 ▼環境啓発標語・ポスターコンクール 緑化部門の作品募集 ▼環境啓発イベントにおいて、鳥の巣箱作り講習会を継続して実施	▼自然環境学習会の開催 ▼環境啓発標語・ポスターコンクール 緑化部門の作品募集 ▼環境啓発イベントにおいて、鳥の巣箱作り講習会を継続して実施	▼自然環境学習会の開催 ▼環境啓発標語・ポスターコンクール 緑化部門の作品募集 ▼環境啓発イベントにおいて、鳥の巣箱作り講習会を継続して実施	▼自然環境学習会の開催 ▼環境啓発標語・ポスターコンクール 緑化部門の作品募集 ▼環境啓発イベントにおいて、鳥の巣箱作り講習会を継続して実施
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 環境政策課	環境啓発・ポスターコンクールの開催を通じて、市内の小中学生を中心に多くの生徒の参加により、貴重な自然環境の保全に対する市民意識の啓発に努めることができた。			
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	2,840			
自然環境調査員活動事業	▼市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査 ▼自然観察会や学習会など自然環境の保全のための普及啓発事業の実施	▼市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査 ▼自然観察会や学習会など自然環境の保全のための普及啓発事業の実施	▼市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査 ▼自然観察会や学習会など自然環境の保全のための普及啓発事業の実施	▼市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査 ▼自然観察会や学習会など自然環境の保全のための普及啓発事業の実施
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 環境政策課	市内の動植物の生息状況やその他の自然環境の把握に努めるとともに、調査員を対象とした学習会を開催し、生物多様性の保全に関する知識や理解を深め、身近な生きもの調査の実施に向け検討を行った。			
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	3,800			
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度		H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 自然保護啓発普及事業	30		765,000	585,818	747,000	市民の緑化への意識高揚を図るため、緑化標語・ポスターコンクール等を開催する。	B	3
2 自然環境調査員活動事業	30		1,109,000	905,179	1,419,000	身近な自然環境を保全するにあたり、市内の動植物の生息状況その他の自然環境を調査する。	B	1
3 自然環境保全活動促進事業	30		2,113,000	2,013,358	2,027,000	多摩川など水辺を活用した自然環境学習や体験学習を実施する。市民の緑化活動を支援するための事	B	1
4 生物多様性地域戦略推進事業	20		2,403,000	2,031,400	691,000	市内における生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。	B	3
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			6,390,000	5,535,755	4,884,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	028	緑のまちづくりの推進				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			主担当部課名	都市整備部 公園緑地課
	基本施策	02	緑の整備			
めざす姿	市内のまとまった樹林や地域に残る樹木等が保全されるとともに、身近な生活空間の緑が増え、水と緑が輝く潤いのあるまちが形成されています。また、水と緑が持つ様々な機能を高めるため、市民や事業者と市が協働して緑のまちづくりに取り組んでいます。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	452,805,000	456,405,000	523,127,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	75,178,000	13,053,000	13,763,000			
一般財源	377,627,000	443,352,000	509,364,000			
予算現額	444,635,000	491,560,000	0			
決算額	429,016,096	479,813,591	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	412,282,756	466,514,626	0			
執行率	96.5	97.6	0.0			
(人件費)						
職員数	14.34	15.60	0.00			
職員人件費	114,610,557	117,650,801	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	3,558,981	3,316,770	0			
総コスト	547,185,634	600,781,162	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
市の面積に対する緑地の割合	24.7	実績	24.8	-	-	-	25.6
	%	達成率	96.9	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

公園・緑地の新設や拡張、公共用地の緑化、民有地の緑化を数値化したもので、市の財政状況や社会・経済情勢により実績値に増減があり、また、市の緑化に対する考えも「量」から「質」へと変わってきていることから、微増に留まっている。

4 施策の進捗状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進捗状況	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい			
達成できている点	市立新田公園を開設し、広場や緑地なども拡張され、緑地の割合は増加している。また、地域まちづくり条例に基づく緑化協議を行い、民有地においても適性に緑化が行われている。			
達成できていない点	市内に350箇所の公園・緑地が配置されており、より質の高い空間の確保が求められていることから、量から質への転換を図っており、量的な増加が達成できていない。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

これまでは、都市化の進展に伴い失われた緑を確保するため、緑の量の確保に重点を置き、公園や緑地を市内各所に設置し、また、まちかどの小スペースを有効活用した緑化として、スポットパークや公共花壇を設置し、美しいまちなみ景観を形成してきた。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

市民の生活スタイルの変化や価値観の多様化が進み、より質の高い空間の確保が求められていることから、量から質への転換を図り、地域特性を生かした個性豊かな緑のまちづくりを進めていく必要がある。

今後の展開

地域特性を生かした個性豊かな緑のまちづくりを進めていくために、「個人の庭」の一般公開など「セミパブリックガーデン」を体系化し、普及推進をしていくと共に、法制度による緑化協議による緑地の確保や緑化の推進を図っていく。また、インフラ管理ボランティア制度を活用し、市民・事業者との協働による安心・安全な公園・緑地を維持し、市民が親しみを持つ空間づくりを行っていかなければならない。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
まちかど空間緑化推進事業	季節に応じた草花を植付け、市民の目を楽しませるとい手法から、地域の特性を残しつつ、宿根タイプの草花を植付け、次年度に継続させる手法に切り替え、植付け回数を減少させる。	季節に応じた草花を植付け、市民の目を楽しませるとい手法から、地域特性を残しつつ、宿根タイプの草花を植付け、継続させる手法に切り替え、経費の節減を図る。今後とも「地域の庭」としての緑化を、市民や事業者との協働により適切に管理し、親しまれる空間を維持していく。	公共花壇や市民花壇を「地域の庭」としての緑化を、市民や事業者との協働により適切に管理し、多くの人に親しまれる空間を維持していく。また、法制度に基づく緑化協議を行い、地域における緑地の確保、推進を図っていく。	公共花壇や市民花壇を「地域の庭」としての緑化を、市民や事業者との協働により適切に管理し、多くの人に親しまれる空間を維持していく。また、法制度に基づく緑化協議を行い、地域における緑地の確保、推進を図っていく。
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 公園緑地課	公共花壇については、財政状況により、河川敷の花壇は中止し、品種の削減など全体を縮小する方向となった。			
事業種別	市民花壇については、協力団体が減少したが、箇所数はほぼ維持できており、引き続き地域の庭として、緑化の推進に協力していただけた。			
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	63,280			
公園緑地等維持管理事業	府中市インフラ管理ボランティア制度実施要領が制定され、厳しい財政状況のなかで、市と市民の協働の管理を促進することにより、市民が親しみを持ち、施設の継続的な安全性を確保することを推進するため、説明会などを実施し制度の拡充を図る。	公園・緑地において、予防保全型管理に切り替え、公園樹木の安全対策を含め、適正な維持管理に努めるとともに、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度を活用し、市民が親しみを持ち、施設の継続的な安全性の確保を推進するため、制度への登録を引き続き働きかける。	公園・緑地において、予防保全型管理に切り替え、公園樹木の安全対策を含め、適正な維持管理に努めるとともに、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度を活用し、市民が親しみを持ち、施設の継続的な安全性の確保を推進するため、制度への登録を引き続き働きかける。	公園・緑地において、予防保全型管理に切り替え、公園樹木の安全対策を含め、適正な維持管理に努めるとともに、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度を活用し、市民が親しみを持ち、施設の継続的な安全性の確保を推進するため、制度への登録を引き続き働きかける。
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 公園緑地課	財政状況から、市民要望に適切に対応できない部分もあったが、安全で安心に利用いただける公園・緑地の維持管理に取組み、状況改善を図った。インフラ管理ボランティア制度「府中まちなかきさら」の説明会を実施するなど、市民が親しみを持ち、施設の継続的な安全性の確保を推進した。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,525,816			
公園緑地等整備事業	市民の生活スタイルの変化に伴い、より質の高い空間の確保が求められ、防災機能の向上、施設の充実等、緑のまちづくりの考え方を量から質へと転換していく。また、四谷さくら公園の拡張整備など、地域の特性に合わせた合わせた公園・緑地の整備の取組みをより進めていく。	インフラマネジメント計画に基づく、公園施設等の長寿命化を図ると共に、防災機能の向上、施設の充実など、緑のまちづくりの考え方を量から質へと転換していく。四谷さくら公園拡張整備については、引き続き市民協働による公園づくりを進め、地域の特色を生かした整備計画を立案する。	インフラマネジメント計画に基づく、公園施設等の長寿命化を図ると共に、防災機能の向上、施設の充実など、適切な維持管理など、緑のまちづくりの考え方を量から質へと転換していく。	インフラマネジメント計画に基づく、公園施設等の長寿命化を図ると共に、防災機能の向上、施設の充実など、適切な維持管理など、緑のまちづくりの考え方を量から質へと転換していく。
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 公園緑地課	既存の公園施設等に対し、適切な補修作業を行うことにより、防災機能の向上、施設の充実、インフラマネジメント計画に基づく長寿命化を図った。また、四谷さくら公園の拡張整備については、近隣住民とのワークショップを4回開催し、市民要望を取り入れた3つの基本方針案をまとめた。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	0			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度		H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 民有緑地保全支援事業	30		6,600,000	6,320,225	6,505,000	良好な自然環境の保護又は美観風致を維持するため、一定基準を満たす樹木等の保存を奨励する	B	1
2 まちかど空間緑化推進事業	30		10,996,000	7,827,381	11,956,000	公共花壇の適切な維持管理及び市民花壇への花苗の提供	C	1
3 公園緑地等維持管理事業	30		361,116,000	393,359,735	442,981,000	公園や緑地などの維持・管理	B	1
4 公園緑地等整備事業	30		77,693,000	72,306,250	61,685,000	既存の公園等を生かし、水と緑のネットワークの形成を中心とした整備を進める	B	1
5 緑化指導事業	30	○	0	0	0	府中市地域まちづくり条例等に基づく緑化指導	B	1
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			456,405,000	479,813,591	523,127,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	029	環境に配慮した活動の促進				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			主担当部課名	生活環境部 環境政策課
	基本施策	03	生活環境の保全			
めざす姿	環境保全に関する適切な情報の提供や交流を行うことにより、市民一人ひとりが環境に対して高い意識を持ち、積極的に環境に配慮した行動を実践しています。また、地球温暖化を防止し地球環境を保全するため、エネルギー消費や環境負荷を低減する活動を実施し、環境にやさしい生活を送っています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	50,046,000	36,206,000	37,139,000			
国庫支出金	10,030,000	7,645,000	982,000			
都支出金	90,000	90,000	131,000			
市債	0	0	0			
その他	8,075,000	1,891,000	1,891,000			
一般財源	31,851,000	26,580,000	34,135,000			
予算現額	50,019,000	36,116,000	0			
決算額	39,318,897	30,642,899	0			
国庫支出金	2,141,000	5,673,000	0			
都支出金	2,322,750	24,166	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	28,772,147	23,054,733	0			
執行率	78.6	84.8	0.0			
(人件費)						
職員数	4.72	4.46	0.00			
職員人件費	37,755,946	33,636,062	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	489,977	360,175	0			
総コスト	77,564,820	64,639,136	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
二酸化炭素排出量	917.5	実績	1,156	-	-	-	825.1
	1000t-CO2	達成率	140.1	0.0	0.0	0.0	
環境学習講座の実施回数	10	実績	10	-	-	-	10
	回	達成率	100.0	0.0	0.0	0.0	
小学校・中学校への雨水浸透施設及び貯留施設の設置数	4	実績	7	-	-	-	7
	校	達成率	100.0	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

指標 について、二酸化炭素排出量は、排出係数の増加に伴うものであり、エネルギー消費量としては、多摩地域全体で減少しており、省エネルギーが図られていると認識している。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費量の削減 ・市民への環境学習機会の提供及び環境行動の啓発 			
達成できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・排出係数の増加に伴う二酸化炭素排出量の増加 ・環境に係るリーダーの育成 			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

府中市職員エコ・アクションプラン及びISO14001の適正運用を行い、環境負荷低減に努めた。姉妹都市長野県佐久穂町と、平成23年7月に「府中市と佐久穂町との地球環境保全のための連携に関する協定」を締結し、カーボンオフセットを実施している。実施にあたっては、長野県「森の里親促進事業」の趣旨に則り、二酸化炭素の吸収量を増加させるとともに、住民相互が自然に親しみ体験する機会を確保した。平成17年度から、地球温暖化防止対策の一環として、再生可能エネルギーの導入促進及び省エネルギーを推進するため、環境に配慮した住宅設備の設置に要する費用の一部を助成している。平成26年度までの累計で、約1960.2tの二酸化炭素削減が見込まれている。啓発事業として、平成18年度から「環境フェスタ」を開催し、その後、他の事業との共同開催や新規イベントを開催し、拡充を図った。平成24年度からは「環境フェスタ」「グリーンフェスティバル」「リサイクルフェスタ」を統合した、「府中環境まつり」を開催した。平成23年12月1日に環境保全活動センターを開設した。運営にあたってはサポーター及びサポーターから選出した運営委員の協力を得ながら、会報、HP等により情報を発信した。平成24年度から、企業・市民の協力を得て「クール・エコの集い」を開催するなど、活動の拡大を図った。平成13年度から環境学習講座を実施するほか、NPO団体や東京農工大学への委託による環境調査を実施し、結果を「府中の環境」で公表した。平成25年度より府中市専用水道等の事務委託に関する規約に基づいて、専用水道等の管理及び執行を東京都に委託している。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

第3次府中市職員エコ・アクションプランの計画期間が平成27年度で終了するため、新たなプランの策定が必要である。また、平成27年にISO14001の規格の大幅な改定が予定されているため、新たな規格に沿ったシステムの構築が必要である。環境マネジメントシステムの対象は市役所本庁舎、府中駅北第二庁舎、ふるさと府中歴史館となっているが、省エネルギー法では事業者全体でのエネルギー使用量の把握が求められており、対象の拡大が必要である。カーボンオフセット事業について、協定期間終了後の事業の手法、間伐の方法、補助金の活用など、佐久穂町、長野県との協議が必要である。

今後の展開

環境保全活動センターの更なる広報活動を行い、市民・事業者への周知を図り、来訪者の増加を目指す。また、環境保全活動センターサポーターとの連携を図り、環境保全に関する相談対応等の連絡体制を確立させる必要がある。環境学習講座の周知方法等に工夫をし、市民の参加者を増加させる必要がある。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
環境マネジメントシステム運営事業	法令・都条例に基づく届出。	法令・都条例に基づく届出。 第4次府中市職員エコ・アクションプラン及びISO14001（2015）に沿った新たなEMSの策定。	法令・都条例に基づく届出。 エコ・アクションプランに基づくエネルギー削減。 ISO14001更新審査の受審。	法令・都条例に基づく届出。 エコ・アクションプランに基づくエネルギー削減。管理標準作成に向けたモデルの作成。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 環境政策課	法令・都条例に基づき、期限内の届出を行った。 新たなエコ・アクションプラン等の策定に向け、予算措置を図った。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
24,372				
環境保全活動事業	環境啓発事業の実施。	環境啓発事業の実施。	環境啓発事業の実施。 環境保全活動センター担当を中心としたセンター機能拡充方針の検討。	環境啓発事業の実施。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 環境政策課	天候による中止もあったが、計画通りの事業実施が図れた。中止事業については、迅速な中止対応の体制を整え、混乱防止に努めた。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
23,156				
地球温暖化対策事業	カーボンオフセット事業及び森林間伐体験事業の実施。	カーボンオフセット事業及び森林間伐体験事業の実施。 佐久穂町との協定継続に向けた間伐方針の決定。	カーボンオフセット事業及び森林間伐体験事業の実施。 新たな協定に基づく事業の実施。	カーボンオフセット事業及び森林間伐体験事業の実施。 森林計画策定の検討。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 環境政策課	カーボンオフセット事業については、計画に基づく施策が出来ている。 森林間伐体験事業については、佐久穂町、委託先の協力により、参加者から高い評価を得ている。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
95,412				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度		H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 環境審議会運営事業	20		1,155,000	132,000	495,000	環境施策について、審議会を開催し、審議する。	B	2
2 環境マネジメントシステム運営事業	20		1,480,000	1,373,487	4,934,000	環境マネジメントシステムの運営	B	1
3 環境保全活動事業	20		5,154,000	4,200,896	4,996,000	環境保全活動センターを中心とし、市民・事業者・行政が一体となった環境啓発事業を実施する	B	1
4 地球温暖化対策事業	20		22,561,000	19,724,560	21,030,000	府中市地球温暖化対策地域推進計画の推進、環境に配慮した住宅設備の設置の助成	B	3
5 専用水道等衛生対策事業	10		5,856,000	5,211,956	5,684,000	専用水道等の衛生管理の事務事業	B	1
6 環境基本計画策定事業	30	-	0	0	0	-	-	-
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			36,206,000	30,642,899	37,139,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	030	まちの環境美化の推進				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			担当部署課名	生活環境部 環境政策課
	基本施策	03	生活環境の保全			
めざす姿	市民と市が協力し、まちの美化推進を行うことで、全ての市民がごみやたばこのポイ捨て、路上喫煙、ペットのふんの放置をしないなど、高い美化意識を持ち、美しく快適な環境を維持しています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	19,373,000	19,500,000	20,160,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	2,829,000	2,874,000	2,659,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	16,544,000	16,626,000	17,501,000			
予算現額	19,473,000	19,500,000	0			
決算額	17,969,436	17,421,151	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	2,831,413	2,662,617	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	15,138,023	14,758,534	0			
執行率	92.3	89.3	0.0			
(人件費)						
職員数	4.53	5.90	0.00			
職員人件費	36,232,068	44,496,136	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	431,977	465,593	0			
総コスト	54,633,481	62,382,880	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
周辺の美化清掃を実施した駅数	3	実績	3	-	-	-	5
	駅	達成率	60.0	0.0	0.0	0.0	
自主的な清掃活動への参加者数	70	実績	104	-	-	-	77
	団体	達成率	135.1	0.0	0.0	0.0	
美化活動における府中駅周辺のごみ回収量	10.4	実績	12.39	-	-	-	0
	kg/回	達成率	0.0	-	-	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

- 【指標1】平成29年度における実績値5を目標としており、着実に実績を増やしている。
 【指標2】他の類似制度もあり、本数値のみでの評価は難しいが、毎年順調に実績を残している。
 【指標3】あくまで趣旨は美化意識の向上であり、ごみ回収量の減少を目指すものであるが、平成26年度は基準値以上の回収量となった。

4 施策の進ちよく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちよく状況	目標達成に向け順調に進ちよくしている			
達成できている点	市民との協働による駅周辺の清掃活動を3駅で実施、することにより自主清掃活動の支援を行うことで、ごみやたばこのポイ捨ての禁止、喫煙禁止路線の周知、喫煙のマナーアップ等に取り組み、美化意識の向上を図ることができた。			
達成できていない点	空家対策について、従来からの指導は継続していくとともに、加えて「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく体制整備を進める必要がある。また飼い主のいない猫が引き続き課題となっている地域があるため、繁殖を防止するための対策を検討していく。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

「府中市まちの環境美化条例」で指定された【環境美化推進地区】を中心として、協定を締結した自治会、商店会、事業所などと協働で、定期的な美化活動および啓発活動を行うとともに、【喫煙禁止路線】における路上喫煙のパトロールや、地域の団体等による自主清掃の支援を実施し、まちの環境美化に努めている。

また、市民の安全で快適な生活確保のため、スズメバチの巣の駆除や空地の適正管理指導を行うほか、害虫の自主駆除の支援のために、器具の貸出しと駆除方法等の指導を行っている。

さらに、飼い主のいない猫の繁殖を防止するため、登録している活動団体に去勢・不妊手術費の助成を行っている。

平成23年度は、空家調査を実施し、市内の管理されていない空家を把握した。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

一部の団体や地域については、定期的な美化活動もされているが、路上への空き缶等や吸い殻等のポイ捨て、ペットのふん尿放置等はいまだに多く、いかに市民個々のまちの環境美化意識向上を図るか、現在の事業と平行しながら、新たな啓発方法を考えていかなければならない。また、美化活動の清掃において回収されたごみや落ち葉について、より環境負荷低減を含めた効率的な回収及び処理方法を考えていかなければならない。

また、管理されていない空家についての苦情相談が寄せられており、平成27年度において全面施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」等の法令・例規等の定めに基づいた、市の体制整備が必要となっている。

今後の展開

環境美化の推進は、市民が主体となって積極的に関わっていくという意識を定着させていくために、効果的な事業実施と啓発を促進させていく必要がある。

各【環境美化推進地区】において、美化協定締結団体と協力員の拡大を図り、協働による美化活動の輪を広げていく。また、生活形態の多様化により、害虫駆除等の相談内容も多様化してきており、適切な対応に必要な知識の取得も積極的にやっていく。加えて住環境におけるハクビシンの対策について、関係団体等と連携し対応していく。【喫煙禁止路線】における路上喫煙パトロールについて、より効果的になるよう実施時間帯を改善していく。

さらに、平成23年度に実施した空家調査の結果を活用し、引き続き空家対策を行っていく。また、法令・例規に基づいた市の体制整備についての検討を行っていく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
環境美化推進事業	環境美化推進地区内にある駅の周辺において、美化清掃活動を実施する。 「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」・「東府中駅」・「府中本町駅」が該当駅であり、平成29年度までに、全5駅での実施を目標とする。	環境美化推進地区内にある駅の周辺において、美化清掃活動を実施する。 「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」・「東府中駅」・「府中本町駅」が該当駅であり、平成29年度までに、全5駅での実施を目標とする。	環境美化推進地区内にある駅の周辺において、美化清掃活動を実施する。 「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」・「東府中駅」・「府中本町駅」が該当駅であり、平成29年度までに、全5駅での実施を目標とする。	環境美化推進地区内にある駅の周辺において、美化清掃活動を実施する。 「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」・「東府中駅」・「府中本町駅」が該当駅であり、平成29年度までに、全5駅での実施を目標とする。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 環境政策課	「府中駅」・「中河原駅」・「分倍河原駅」の計3駅において美化清掃活動を実施。その他、自主清掃活動の支援等を通じ、市民のまちの環境美化意識の向上を図ることができた。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	39,180			
空き家・空き地等対策事業	平成23年度に実施した全戸調査、また、その後の市民からの相談等で把握した荒廃した空家について、その改善に向けた所有者への指導を実施する。	・継続して荒廃した空家所有者への改善指導を実施する。 ・平成27年度中に全面施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく体制整備を進める。	・継続して荒廃した空家所有者への改善指導を実施する。 ・平成27年度中に全面施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく体制整備を進める。	・継続して荒廃した空家所有者への改善指導を実施する。 ・平成27年度中に全面施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく体制整備を進める。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 環境政策課	「空家等対策の推進に関する特別措置法」の全面施行を見据えた、庁内連携体制の整備を行った。このことで、平成27年度以降の同法に基づく体制整備について、庁内の協力体制を構築することができた。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	212			
市民清掃活動事業	「多摩川清掃市民運動」を実施することにより、市民のまちの環境美化意識の向上に努める。	「多摩川清掃市民運動」を実施することにより、市民のまちの環境美化意識の向上に努める。	「多摩川清掃市民運動」を実施することにより、市民のまちの環境美化意識の向上に努める。	「多摩川清掃市民運動」を実施することにより、市民のまちの環境美化意識の向上に努める。
	【進捗状況】 目標以上に進んでいる	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 環境政策課	地域、企業等との連携により、毎年の定例的な事業として市民に定着しており、多くの参加を得ることができた。ごみの回収はもちろん、参加することで、多くの市民が、まちの環境美化について意識することにつながっている。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	7,212			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度		H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 環境美化推進事業	30		10,101,000	9,208,882	11,283,000	市民と事業者との連携協働により、美化活動推進と美化意識の啓発を行う。	A	
2 害虫等駆除対策事業	30		2,197,000	1,705,265	2,069,000	危険害虫及び不快環境獣等の駆除・捕獲などによる市民の安全な生活環境保全事業	B	1
3 空き家・空き地等対策事業	20		53,000	36,881	51,000	空き地及び空き家の適正管理を指導し、周辺地域住民の生活環境の悪化を防止する。	A	
4 市民清掃活動事業	30		1,039,000	992,363	1,020,000	市民・事業者により多摩川河川敷を一斉に清掃する。	A	
5 環境衛生普及対策事業	30		267,000	111,758	215,000	緊急発生した衛生害虫駆除等による快適な生活環境の確保	B	1
6 飼い主のいない猫対策事業	30		2,840,000	2,640,331	2,712,000	飼い主のいない猫の増加及び被害防止のため、地域ぐるみで実施する対策活動の啓発と支援。	B	1
7 公衆トイレ維持管理事業	30		3,003,000	2,725,671	2,810,000	南部線西府駅北公衆トイレの建設及び維持管理に関すること	B	1
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			19,500,000	17,421,151	20,160,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	031	公害対策の推進			
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			担当部署
	基本施策	03	生活環境の保全		
めざす姿	騒音、振動、悪臭、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、地盤沈下を中心としたいわゆる典型7公害の監視体制が継続されており、事業者に対し指導、助言等を行うことにより公害の発生が未然に防止されています。また、市民、事業者が積極的に環境活動に取り組み、快適に過ごせる環境が保全されています。				

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	25,396,000	21,204,000	22,668,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	4,382,000	4,064,000	4,134,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	21,014,000	17,140,000	18,534,000			
予算現額	25,423,000	21,424,000	0			
決算額	21,859,430	18,449,891	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	4,133,874	4,241,622	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	17,725,556	14,208,269	0			
執行率	86.0	86.1	0.0			
(人件費)						
職員数	3.31	3.15	0.00			
職員人件費	26,449,410	23,756,412	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	315,361	248,590	0			
総コスト	48,624,201	42,454,893	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
市民1,000人当たりの公害苦情件数	0.39	実績	0.39	-	-	-	0.33
	件	達成率	84.6	-	-	-	
騒音・大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合	15.1	実績	12.5	-	-	-	13.5
	%	達成率	108.0	-	-	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

指標 について目標を達成しているが、指標 の苦情については内容が複雑化しており、解決困難や時間を要するものが増えている。第一報に対する迅速な対応が重要であると考え。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	・各種項目における計画的な測定の実施			
達成できていない点	・苦情処理における根本的な解決			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>主な取組として、騒音・振動測定、大気常時監視・測定調査、ダイオキシン類調査を実施している。その他、水質調査や公害相談受付を中心に、工場認可申請や特定建設作業の届出、開発行為や中高層の事前協議などの際に公害発生の未然防止のために業者への指導を行っている。</p> <p>東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、市内のプール水、地下水の放射性物質や小学校等の空間放射線量、土壌の放射性物質の調査分析を実施した。また、環境保全活動センターで空間放射線量測定器の貸出を行った。</p> <p>権限移譲に伴い市に義務付けされた、市の区域に係る自動車騒音の常時監視、「電気用品安全法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」「ガス事業法」に基づく電気用品等適正表示の有無を調査した。</p> <p>これらの成果を「府中の環境」として冊子を作成し、市民へ公表した。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>騒音・振動調査や水質汚濁・大気汚染調査などの実施にあたり、国の基準値や都の条例の規制値などの制度改正に注視を要する。また、権限移譲に伴い事務事業が増加している。</p> <p>苦情については、迅速な対応が求められるが、生活騒音など近隣間での苦情相談が増加しており、解決が困難な事例への対応が課題である。</p> <p>東日本大震災による原子力発電所の放射能漏えい事故の対応については、放射線等の測定の実施により、市内の安全については確認でき、また、結果の公表により落ち着きも見られるが、事故の収束の見極めなど、測定回数、箇所の検討が必要である。</p>
今後の展開
<p>公害問題は、予測困難な新たな問題が発生することもあることから、日ごろから環境の監視体制を強化するとともに、事業者等に対する公害発生防止のための指導や支援、情報提供が必要であり、公害の苦情体制の充実、国や都など関係機関との連携により、新たな公害にも迅速に対応できるようにしていく。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
公害防止指導対策事業	苦情への迅速な対応。 計画的な環境測定の実施。	苦情への迅速な対応。 計画的な環境測定の実施。	苦情への迅速な対応。 計画的な環境測定の実施。	苦情への迅速な対応。 計画的な環境測定の実施。
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 環境政策課	計画的な測定を実施した。 苦情処理について、相隣関係の苦情は解決困難な事例が多く、対応に苦慮している。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	68,420			
環境衛生分析調査事業	計画的な環境測定の実施。	計画的な環境測定の実施。	計画的な環境測定の実施。	計画的な環境測定の実施。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 環境政策課	計画的な測定を実施した。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	42,240			
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度		H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 公害防止指導対策事業	20		16,536,000	15,412,092	16,971,000	苦情処理、大気常時監視、騒音・振動測定などの公害防止指導対策	B	1
2 環境衛生分析調査事業	20		4,668,000	3,037,799	5,697,000	大気や水質、地下水、土壌汚染、放射性物質などの汚染状況の調査及び汚染防止対策	B	1
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			21,204,000	18,449,891	22,668,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	032	斎場・墓地の管理運営				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			担当部署課名	生活環境部 住宅勤労課
	基本施策	03	生活環境の保全			
めざす姿	府中の森市民聖苑が安定的・効率的に運営され、市民が葬儀等をつつがなく執り行うことができます。 また、稲城市と共同して墓地及びメモリアルホールを整備し、安定的かつ持続性の高い公営の墓地を求める市民の需要に応じています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	262,441,000	436,255,000	287,475,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	100,000,000	0			
市債	0	0	0			
その他	81,019,000	82,833,000	81,526,000			
一般財源	181,422,000	253,422,000	205,949,000			
予算現額	262,341,000	431,738,000	0			
決算額	254,887,918	428,571,123	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	172,959,246	350,710,577	0			
執行率	97.2	99.3	0.0			
(人件費)						
職員数	6.78	6.78	0.00			
職員人件費	54,188,255	51,132,848	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	1,066,120	1,367,186	0			
総コスト	310,142,293	481,071,157	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
斎場待ち日数	8	実績	12	-	-	-	8
	日	達成率	66.7	-	-	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

待ち日数の基準値を8日としているが、利用が集中する場合があります、休館日・火葬無し日と重なると待ち日数が基準値を上回ってしまい、ここ数年こうした状況が続いている。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	府中の森市民聖苑の経年劣化の状況は概ね把握しており、予算の範囲内で計画的に改修補修等を行っている。			
達成できていない点	府中の森市民聖苑については、斎場という施設の特性上、一部の経年劣化に対しては早急な対応がとれていない部分がある。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>1 斎場 斎場の運営については、通夜・告別式の待ち日数を減少させ効率的に運営するため、平成20年度に第4式場を開設するとともに友引の日の営業も開始した。また、耐用年数の迫っている火葬炉の改修に備えて、平成20年度に火葬炉2基を増設した。平成23年度は火葬炉の経年劣化に伴う内部煉瓦の改修工事を実施した。平成24年度は長期修繕計画準備調査の結果を踏まえて施設・設備の点検を強化し、マグメディアの電光掲示板改修、火葬炉制御設備等の改修、空調設備（インバーター）交換修理、施設内インターロッキングの浮き修繕等を行った。平成25年度は中央監視システムの更新をはじめ、照明制御主操作盤取替、火葬炉主燃炉修繕、厨房の機器ら設備及び排水設備の修繕、据置鉛蓄電池交換修繕、屋上床タイル目地補修などを行い経年劣化対策を講じた。また、施設内料理店、売店の選定（5年毎）を実施した。平成26年度、屋上塗装改修工事をはじめ祭壇洗浄等実施した。</p> <p>2 墓地の整備 稲城市の南山東部土地区画整理事業地内に本市と稲城市の両市で、墓地及び葬儀・法要施設を整備するため、平成24年5月に稲城・府中墓苑組合を設立し、組合が主体となり事業を実施しており、メモリアルホール・合葬式墓地等建設工事及び苑内整備（その1）工事が平成27年3月に完了した。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>1 斎場 高齢化とともに高まるニーズに応え、待ち日数減少を含めた施設利用の利便性を高めていくこと。また、開設後19年が経過する中で、円滑な施設運営を図るため、経年劣化等による施設・設備の点検等を強化継続し、必要な改修、修繕等を行わなければならない。</p> <p>2 墓地 施設の供用開始後の安定した管理運営を実現するため、引き続き当該組合と組織団体である本市及び稲城市の3者で緊密に連携・協議を行っていく。墓地使用者の応募状況と供給数に大きな乖離がある場合など、必要に応じて、柔軟な対応を組合に求めている。</p>
今後の展開
<p>1 斎場 高齢化等社会ニーズの変化に応え、運営・設備等必要な見直しを行い、施設の利便性の向上を図っていく。また、円滑な運営を図るため、施設・設備の劣化状況を的確に把握し必要な手立てを講じていく。</p> <p>2 墓地 組合では、平成27年9月から墓地使用者の募集開始を目指して準備を進めており、市民ニーズにあった計画的かつ安定的な供給が行われることが期待される。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
府中の森市民聖苑管理運営事業	屋上塗装改修工事 式場祭壇洗浄 火葬炉(5・6号炉)煉瓦交換修繕 友引日営業等により待ち日数の減少に努める。 施設・設備の点検を強化し、施設機能の維持に努める。 施設・設備(火葬炉含む)修繕	友引日営業等により待ち日数の減少に努める。 施設・設備の点検を強化し、施設機能の維持に努める。 施設利用の利便性向上に努める。 施設・設備(火葬炉含む)修繕。	友引日営業等により待ち日数の減少に努める。 施設・設備の点検を強化し、施設機能の維持に努める。 施設利用の利便性向上に努める。 施設・設備(火葬炉含む)修繕。	友引日営業等により待ち日数の減少に努める。 施設・設備の点検を強化し、施設機能の維持に努める。 施設利用の利便性向上に努める。 施設・設備(火葬炉含む)修繕。
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 住宅勤労課	塗装改修工事等予算計上案件は順調に執行。 待ち日数では、集中的に利用が増え目標は達成できなかった。 修繕等については、予算の範囲内で対応した。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	797,460			
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別	-----			
4か年事業費計(単位:千円)				
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別	-----			
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の前算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度		H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 府中の森市民聖苑管理運営事業	30		214,683,000	206,999,123	218,774,000	市民が安心して葬儀等行なえる市民斎場を管理運営する事業	B	4
2 市民墓地整備・管理運営事業	20		221,572,000	221,572,000	68,701,000	市民墓地の整備	B	1
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			436,255,000	428,571,123	287,475,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	033	ごみ減量化・資源化の推進				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			主担当部課名	生活環境部 ごみ減量推進課
	基本施策	04	循環型社会の形成			
めざす姿	ごみの減量や資源化を推進し、環境負荷の低い循環型社会が形成され、ごみの発生が抑制されています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	167,276,000	156,650,000	150,117,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	12,821,000	1,584,000	1,786,000			
一般財源	154,455,000	155,066,000	148,331,000			
予算現額	167,276,000	156,172,000	0			
決算額	144,757,156	143,070,104	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	129,773,642	141,157,538	0			
執行率	86.5	91.6	0.0			
(人件費)						
職員数	12.79	13.42	0.00			
職員人件費	102,222,387	101,209,856	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	3,761,806	5,526,114	0			
総コスト	250,741,349	249,806,074	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合	91.6	実績	74.4	-	-	-	93
	%	達成率	80.0	0.0	0.0	0.0	
市民1人当たりのごみ・資源の排出量	645	実績	633	-	-	-	595
	g/日	達成率	94.0	-	-	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合については、平成26年度から市民意識調査のアンケートが3択式から6択式に変わったため、基準値より実績が低くなっている。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	市民1人当たりのごみ資源の排出量については前年比-12gとなった。			
達成できていない点	ごみ減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合は、調査内容が変わったことにより大幅に減少した。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

- ・ ごみ減量・3Rの推進については、広報やごみ新聞による啓発及び自治会説明会や街頭キャンペーンなど積極的なPR活動を行った。
- ・ 市・産学官・農家の方との協働・連携により、給食残を活用した生ごみ資源循環モデル事業を行い、一定の成果が得られた。
- ・ 府中市ごみ減量等推進市民会議を開催した。
- ・ 平成26年度から、3R施策を進めるという明確な意思を示すことから「リサイクル係」を「3R推進係」とした。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

- ・ 各種ごみ減量・3Rの取組を展開してきたこと、また市民の方の3Rに関する意識が浸透してきたことで、総ごみ量は減少傾向にあるが、景気の動向や消費税の動向により、ごみ量は変化していくと考えられるため、より一層のごみ減量・3Rへの意識向上を図る必要がある。

今後の展開

- ・ 府中市ごみ減量等推進市民会議の意見やアイデアを施策に反映させる。
- ・ 事業者に対して店頭回収の推進・レジ袋の削減や過剰包装の抑制などを働きかける。
- ・ ごみ減量・3Rに関する啓発事業を積極的に展開し、特にリデュース・リユースの意識向上を図っていく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
集団回収推進事業	大規模な集合住宅や未実施の自治会などに集団回収の実施を促し、集団回収の拡充に努める。	大規模な集合住宅や未実施の自治会などに集団回収の実施を促し、集団回収の拡充に努める。	大規模な集合住宅や未実施の自治会などに集団回収の実施を促し、集団回収の拡充に努める。	大規模な集合住宅や未実施の自治会などに集団回収の実施を促し、集団回収の拡充に努める。
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 ごみ減量推進課	実施団体数は微増となったが、新聞を取らない世帯の増加などもあり、微減であった。			
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	379,748			
ごみ減量運動啓発事業	ごみ減量・3Rの推進を広く市民にPRするとともに、正しい分別方法について周知を図ることによりさらなるごみの減量を進める。	ごみ減量・3Rの推進を広く市民にPRするとともに、正しい分別方法について周知を図ることによりさらなるごみの減量を進める。	ごみ減量・3Rの推進を広く市民にPRするとともに、正しい分別方法について周知を図ることによりさらなるごみの減量を進める。	ごみ減量・3Rの推進を広く市民にPRするとともに、正しい分別方法について周知を図ることによりさらなるごみの減量を進める。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 ごみ減量推進課	ごみ減量推進大会の実施を始め、街頭キャンペーンなど市民の方々と共にごみ減量の意識啓発を行った。			
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	157,268			
生ごみ資源有効活用推進事業	生ごみ資源循環型モデル事業の最終年度であることから、事業終了後の展望を検討し、併せて本事業の報告書を作成する。	家庭生ごみの減量に向け、生ごみ処理機「キエーロ」の個人モニター制度を実施する。また、団体向けには機械式大型生ごみ処理機及びキエーロを利用した検証事業を展開する。	個人・団体向けキエーロ検証事業について、報告書を作成し、次年度以降の施策を検討する。また、機械式大型生ごみ処理機の検証を引き続き実施するとともに今後の展望をまとめる。	検証結果を踏まえ、生ごみに資源化及び減量化施策を実施する。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 ごみ減量推進課	主にモデル事業終了後の展望について、委員会・作業部会でまとめ、委員長より市長への提言をした。また、最後までトラブルを起こすことなく、安全に資源化装置の運転を終了した。			
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	12,516			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度		H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 清掃関連広域連携事業	30		155,000	155,000	155,000	全国都市清掃会議運営費及び三多摩清掃施設協議会運営会費	B	4
2 集団回収推進事業	30		88,472,000	82,002,520	85,536,000	ごみ減量及びリサイクル活動の推進のため、資源物回収を行う。	B	1
3 ごみ減量運動啓発事業	30		16,663,000	14,348,957	17,485,000	ごみ減量の啓発	A	
4 リサイクル推進事業	30		42,831,000	38,508,733	38,889,000	粗大ごみから出た家具などを再生し、リサイクルの推奨を行う。	B	1
5 地域ごみ対策推進事業	30		448,000	335,014	386,000	地域住民のごみ減量とリサイクル推進活動	B	3
6 生ごみ資源有効活用推進事業	30		3,161,000	3,136,814	2,995,000	生ごみの堆肥化	B	1
7 ごみ排出指導事業	30		2,920,000	2,667,866	2,671,000	ごみ排出事業	B	1
8 ごみ減量化処理機器購入補助事業	30		2,000,000	1,915,200	2,000,000	ごみ減量化処理機器購入費補助金交付	A	
9 廃棄物減量等推進審議会運営事業		-	0	0	0	-	-	-
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			156,650,000	143,070,104	150,117,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	034	ごみの適正処理の推進				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			主担当部課名	生活環境部 ごみ減量推進課
	基本施策	04	循環型社会の形成			
めざす姿	ごみの収集・中間処理・最終処分の各段階において適正な処理を推進することにより、施設の延命化が進んでいます。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	3,637,696,000	3,549,660,000	3,590,244,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	172,900,000	205,300,000	163,000,000			
市債	0	0	0			
その他	1,039,506,000	1,028,624,000	1,061,560,000			
一般財源	2,425,290,000	2,315,736,000	2,365,684,000			
予算現額	3,642,894,000	3,564,573,000	0			
決算額	3,627,768,414	3,542,007,806	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	170,639,000	189,125,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	2,393,775,739	2,287,553,312	0			
執行率	99.6	99.4	0.0			
(人件費)						
職員数	30.21	30.58	0.00			
職員人件費	241,449,437	230,625,736	0			
嘱託員数	3.00	3.00	0.00			
嘱託員人件費	9,714,231	10,052,169	0			
(間接経費)						
間接経費	9,767,797	13,827,645	0			
総コスト	3,888,699,879	3,796,513,356	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
最終処分場への搬入量	1,954	実績	1,458	-	-	-	1,800
	t	達成率	123.5	-	-	-	
市民1人当たりの多摩川衛生組合への搬入量	465	実績	460	-	-	-	430
	g/日	達成率	93.5	-	-	-	
市民1人当たりのリサイクルプラザへの搬入量	146	実績	142	-	-	-	135
	g/日	達成率	95.1	-	-	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

最終処分場への搬入量については、焼却灰のスラグ化・メタル化により減少しているが、今後はスラグ化・メタル化の廃止に伴い、搬入量が増加する見込み。
平成26年度の総ごみ量は前年比1%減となり2年続けて減少となった。

4 施策の進捗状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進捗状況	目標達成に向け順調に進捗している			
達成できている点	最終処分場への搬入量は目標値を下回っている。リサイクルプラザへの搬入量は基準値よりも下げることができ、目標値に近づきつつある。			
達成できていない点	多摩川衛生組合への搬入量をもう少し減少させる必要がある。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> 最終処分場への搬入量については、焼却灰のスラグ化やメタル化により減少している。 平成26年度からリサイクルプラザにおいて小型家電の選別を実施した。 平成26年度から粗大ごみ収集を直営から民間委託とした。排出指導強化に伴い、新たに指導係を新設した。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>新たな資源化品目や処理方法を模索し、各施設への搬入量の減少を目指し、各施設において適正に処理を行い、効率的な施設運用を行うことを必要とする。</p>
今後の展開
<ul style="list-style-type: none"> 燃やすごみを焼却している多摩川衛生組合の運営について他市の構成市とも連携しながら、安定的かつ効率的な運営に努める。 新たな資源化品目や処理方法を模索し、各施設への搬入量を減少させる。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
廃棄物収集運搬事業	排出ルールに基づいて収集し、適正に各中間処理施設へ搬入します。	排出ルールに基づいて収集し、適正に各中間処理施設へ搬入します。	排出ルールに基づいて収集し、適正に各中間処理施設へ搬入します。	排出ルールに基づいて収集し、適正に各中間処理施設へ搬入します。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 ごみ減量推進課	排出ルールに基づき各中間処理施設へ搬入している。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	0			
多摩川衛生組合管理運営事業	燃やすごみを焼却処理している多摩川衛生組合の運営については、他市の構成市とも連携しながら、安定かつ効率的な運営に努めます。	燃やすごみを焼却処理している多摩川衛生組合の運営については、他市の構成市とも連携しながら、安定かつ効率的な運営に努めます。	燃やすごみを焼却処理している多摩川衛生組合の運営については、他市の構成市とも連携しながら、安定かつ効率的な運営に努めます。	燃やすごみを焼却処理している多摩川衛生組合の運営については、他市の構成市とも連携しながら、安定かつ効率的な運営に努めます。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 ごみ減量推進課	他の構成市とも連携しながら安定的な運営を行っている。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	0			
リサイクルプラザ管理運営事業	燃やさないごみ・容ブラ、粗大ごみ、びん・かん・ペットボトルなどを処理しているリサイクルプラザの運営については、その搬入されたごみ・資源物を適正に処理するとともに、収集後の資源化率の向上に努めます。	燃やさないごみ・容ブラ、粗大ごみ、びん・かん・ペットボトルなどを処理しているリサイクルプラザの運営については、その搬入されたごみ・資源物を適正に処理するとともに、収集後の資源化率の向上に努めます。	燃やさないごみ・容ブラ、粗大ごみ、びん・かん・ペットボトルなどを処理しているリサイクルプラザの運営については、その搬入されたごみ・資源物を適正に処理するとともに、収集後の資源化率の向上に努めます。	燃やさないごみ・容ブラ、粗大ごみ、びん・かん・ペットボトルなどを処理しているリサイクルプラザの運営については、その搬入されたごみ・資源物を適正に処理するとともに、収集後の資源化率の向上に努めます。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 ごみ減量推進課	搬入されたごみ・資源物を適正に処理するとともに、収集後の資源化率の向上に努めた。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	0			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度		H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 廃棄物収集運搬事業	10		1,401,793,000	1,426,594,337	1,579,252,000	廃棄物（資源）の収集運搬	B	1
2 へい死犬猫処理事業	10		4,125,000	3,985,078	3,920,000	へい死犬猫の収集運搬	B	4
3 リサイクルプラザ管理運営事業	20		498,519,000	466,919,612	440,525,000	府中市リサイクルプラザの管理及び運営	B	1
4 ごみ処理施設等運営事業	10		270,707,000	269,993,456	249,004,000	焼却・し尿処理施設承継事務及び最終処分施設運営負担金	B	1
5 多摩川衛生組合管理運営事業	10		1,374,516,000	1,374,515,323	1,317,543,000	中間処理施設運営負担金	B	1
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			3,549,660,000	3,542,007,806	3,590,244,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	035	交通安全の推進				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課
	基本施策	05	交通安全・地域安全の推進			
めざす姿	交通安全のルールやマナーの啓発活動を徹底するとともに、自転車駐車場や交通安全施設等の整備及び放置自転車対策が拡充されたことで、市民が安心して暮らしています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	613,604,000	408,746,000	382,409,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	117,500,000	0	5,000,000			
その他	200,682,000	120,198,000	88,259,000			
一般財源	295,422,000	288,548,000	289,150,000			
予算現額	468,697,000	428,284,000	0			
決算額	456,372,364	419,853,115	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	52,000,000	0	0			
その他	52,000,000	0	0			
一般財源	268,873,811	305,312,215	0			
執行率	97.4	98.0	0.0			
(人件費)						
職員数	8.34	8.86	0.00			
職員人件費	66,687,704	66,842,827	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	1,707,467	2,131,120	0			
総コスト	524,767,535	488,827,062	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
安心して歩道を通行することができると感じる市民の割合	28.9	実績	39.7	-	-	-	35
	%	達成率	113.4	0.0	0.0	0.0	
交通事故発生件数	3.2	実績	2.5	-	-	-	2.7
	件	達成率	108.0	-	-	-	
自転車駐車場収容可能台数	21,292	実績	22,122	-	-	-	21,600
	台	達成率	102.4	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

指標 ・ については、ともに目標値を達成していることから、交通安全に関する各種啓発活動の効果が表れていると考えられる。
 指標 についても、目標を達成しており、自転車駐車場整備が順調に進んでいる。

4 施策の進ちよく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちよく状況	目標達成に向け順調に進ちよくしている			
達成できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・府中警察、府中交通安全協会と連携した啓発活動を実施 ・交通安全対策審議会を開催 ・交通安全灯のリース方式によるLED化の試験的導入 ・自転車駐車場の新設による収容台数の増加 ・放置自転車の誘導整理の強化 			
達成できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全意識の定着のためには、今後も継続的な活動が不可欠である。 ・交通安全施設の未修理箇所がある。また、区画線や路面表示等については経年劣化、交通環境の変化に対応していく必要がある。 			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

- 府中警察署及び府中交通安全協会と協働して交通安全意識の向上を図った。具体的には、交通安全市民のつどいや小学生・高齢者自転車競技大会等の各種行事による交通安全意識の普及・啓発や、自転車利用の機会が増える中学生に向けた交通安全教室（スケアードストレイト）を実施し、自転車利用時の交通安全ルール及びマナーの安全教育を行った。
- 交通安全灯、道路反射鏡及び道路区画線等交通安全施設の設置及び維持管理を行い、市民の良好な生活環境の確保及び交通安全の推進に努めた。また、交通安全灯については、試験的に一部リース方式によるLED化を導入し、効果の検証を開始した。
- 放置自転車対策として、自転車誘導整理員の誘導体制を見直し、撤去作業の効率化を図ると共に、適切な誘導に努め、放置自転車の台数減少を図った。
- 無料自転車駐車場の拡張及び、西府駅、分倍河原駅周辺に自転車駐車場の新設を行った。
- これら事業の実施により交通事故発生件数は減少傾向にある。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

- 交通事故全体の発生件数は減少傾向にあるものの、依然として自転車関与事故の割合は高く、高齢者や子供が当事者となる事故も多いことから、引き続き、交通安全のルールやマナー啓発を積極的に行っていく必要がある。
- 区画線や路面表示等については経年劣化、交通環境の変化に対応していく必要がある。
- 交通安全灯のLED化について、検討を行っていく必要がある。
- 幼児3人乗り自転車等、自転車の大型化に伴い、既存の自転車駐車設備では対応出来ない場合がある。

今後の展開

- 府中交通安全協会や府中警察署と連携しながら、引き続き交通安全意識の普及・啓発を図っていく。
- 区画線や路面表示等については経年劣化、交通環境の変化に対応していく必要がある。
- 交通安全灯のLED化についてはそのメリット、デメリットを踏まえ検討を進める。
- 道路反射鏡については、地域の状況等を踏まえ適正な場所に設置を進めていく。
- 自転車駐車場の駐車設備を改修し、大型自転車にも対応できるように整備していく必要がある。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
交通安全意識啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全啓発の各種イベントの実施 府中交通安全協会への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全啓発の各種イベントの実施 府中交通安全協会への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全啓発の各種イベントの実施 府中交通安全協会への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全啓発の各種イベントの実施 府中交通安全協会への補助
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 地域安全対策課	年間を通して実施している幼児交通安全教室のほか、予定していた各種イベントを順調に実行し、交通安全意識の向上に努めた。また、府中交通安全協会に対して、適切に補助金を交付した。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
17,456				
駅周辺自転車対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場及び駅周辺環境整備 自転車対策審議会の開催 府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業に伴う公共自転車駐車場の内装設計 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場及び駅周辺環境整備 自転車対策審議会の開催 府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業に伴う公共自転車駐車場の内装整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場及び駅周辺環境整備 自転車対策審議会の開催 府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業に伴う公共自転車駐車場の内装整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場及び駅周辺環境整備 自転車対策審議会の開催
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 地域安全対策課	自転車駐車場の拡張及び新設を行い、駅周辺環境整備を進めた。自転車対策審議会は、用地確保が難航し、未開催となった。また、再開発事業に伴う自転車駐車場の内装設計は平成27年度実施に変更した。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
344,000				
自転車駐車場管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場の業務運営、管理運営及び必要な修繕 有料自転車駐車場の定期利用料金の助成 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場の業務運営、管理運営及び必要な修繕 有料自転車駐車場の定期利用料金の助成 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場の業務運営、管理運営及び必要な修繕 有料自転車駐車場の定期利用料金の助成 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場の業務運営、管理運営及び必要な修繕 有料自転車駐車場の定期利用料金の助成
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 地域安全対策課	自転車駐車場の適切な業務運営、管理運営を行い、劣化状況調査に基づき、多磨霊園駅北自転車駐車場の北面外壁を修繕した。また、有料自転車駐車場の助成金については、適切に執行した。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
285,268				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度		H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 交通安全対策審議会運営事業	30		528,000	165,000	264,000	府中市交通安全対策審議会開催	B	1
2 交通安全意識啓発事業	30		4,162,000	4,021,949	4,594,000	交通安全意識の啓発	B	1
3 道路交通環境円滑化推進事業	30		4,278,000	3,240,000	21,000	市内交通量調査、競馬競艇開催時における交通事故及び交通公害の排除	B	1
4 駅周辺自転車対策事業	30		92,774,000	91,723,315	89,782,000	駅周辺の自転車駐車場整備や放置自転車の対策	A	
5 市営駐車場管理運営事業	30		57,536,000	56,257,985	19,041,000	市営駐車場の管理運営を行う。	A	
6 交通安全施設維持管理事業	30		164,615,000	179,908,670	178,922,000	道路区画線、街路灯、道路反射鏡等交通安全施設の設置及び維持管理	A	
7 自転車駐車場管理運営事業	30		74,178,000	73,976,996	79,125,000	自転車駐車場の維持管理及び運営	A	
8 交通災害共済加入事業	30		10,675,000	10,559,200	10,660,000	交通災害共済加入申込金の一部を市で負担する	B	1
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			408,746,000	419,853,115	382,409,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	036	地域安全の推進				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課
	基本施策	05	交通安全・地域安全の推進			
めざす姿	市民誰もが安全に安心して暮らせるよう、市民・事業者・関係団体・市の連携により防犯体制が整備され、それぞれの地域での支え合いや助け合いが行われることで、市民一人ひとりの防犯意識が向上し、自主防犯活動も活発に展開され、犯罪の少ない住みよいまちになっています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	75,907,000	69,726,000	73,614,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	75,907,000	69,726,000	73,614,000			
予算現額	76,885,000	77,950,000	0			
決算額	76,685,276	77,904,780	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	76,685,276	77,904,780	0			
執行率	99.7	99.9	0.0			
(人件費)						
職員数	4.75	4.56	0.00			
職員人件費	37,995,103	34,413,439	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	1,343,378	1,631,380	0			
総コスト	116,023,757	113,949,599	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
犯罪発生件数	2,721	実績	2,121	-	-	-	2,600
	件	達成率	122.6	-	-	-	
地域の治安が悪化していると感じている市民の割合	22.4	実績	12.5	-	-	-	20
	%	達成率	160.0	-	-	-	
地域安全リーダー講習会受講者数	300	実績	346	-	-	-	450
	人	達成率	76.9	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

犯罪発生件数は、目標を大きく上回る成果をあげ減少している。それに呼応する形で市民の治安に対する評価も高いことから地域安全は順調に前進していると考えられる。さらに地域安全リーダーも目標に向けて着実に増加していることから、市民の防犯意識は向上しており、自主防犯活動の活性化に繋がっていると分析できる。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標以上に進んでいる			
達成できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・府中警察、府中防犯協会と連携した防犯イベント開催や防犯情報の提供による防犯意識の向上 ・防犯カメラ管理団体への支援と合同パトロール等の実施による防犯体制の整備 ・防犯リーダーの育成や防犯グッズの提供による自主防犯活動の活性化 			
達成できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある防犯イベント実施等による若者の自主防犯活動への参加促進 			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> ○府中警察署と連携を密にし、広報紙やメール配信、各種イベント等で、常に最新の犯罪発生状況や防犯対策等の情報を提供し、市民の防犯意識の向上に繋がっている。 ○府中防犯協会の活動を支える補助金の交付を適切に実施した。 ○府中防犯協会と連携し、地域の防犯活動に必要なリーダーの育成や自治会等に防犯グッズの支援を行い、各地域における自主防犯活動の活発化を促進した。 ○府中駅周辺安全安心まちづくり連絡協議会が管理運営している防犯カメラの維持管理費に対し、補助金の交付を適切に実施した。 ○府中駅周辺安全安心まちづくり連絡協議会が中心となり行っている、市民、事業者、行政が連携した夜間パトロールに参加し、さらにパトロール拠点の提供やパトロールグッズの支援も行い、市民に見せる防犯活動のアピールを行って体感治安の向上に貢献した。 ○市及び自治会等による青パト車両の増加を積極的に呼びかけ、市内の防犯パトロール強化を行った。 ○市内の防犯灯の維持管理を適切に推進した。 ○開発により新規に設置される防犯灯については、経費削減効果の高いLED灯化を進めた。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<ul style="list-style-type: none"> ○防犯ボランティアの高齢化と後継者不足の解消。 ○防犯カメラ全交換に向けた、維持管理団体への支援とアドバイス。 ○若い世代に対する防犯イベントの参加や自主防犯活動への参加促進。 ○省電力、維持管理コスト削減のため、LED化を進める。
今後の展開
<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの取組により着実に成果は出ていることから、現在行っている取組を継続し、新たな施策やこれまでの施策に工夫を凝らし、より効率的で効果のある方法を検討、実施していく。 ○防犯カメラの全交換に向けては、管理運営団体の動向に注意を払い、適切なアドバイスを行い、治安維持に隙が生じないようスムーズな計画の実行を支援していく。 ○自主防犯活動の支援については、防犯ボランティア単位、自治会単位という枠を超え、学校等とも連携し、子供から高齢者まで地域全体で活動が行われるよう関係団体等に働きかけを実施していく。 ○新規に設置する防犯灯については、省電力、長寿命等、維持管理コスト削減のため、LED化を進め、既存の灯具のLED化について検討する。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
防犯意識啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域安全パトロールの支援 ・地域安全リーダーの育成 ・各種防犯情報の提供 ・防犯関連イベントへの支援 ・自主防犯活動支援グッズの提供 ・府中防犯協会に対する補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域安全パトロールの支援 ・地域安全リーダーの育成 ・各種防犯情報の提供 ・防犯関連イベントへの支援 ・自主防犯活動支援グッズの提供 ・府中防犯協会に対する補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域安全パトロールの支援 ・地域安全リーダーの育成 ・各種防犯情報の提供 ・防犯関連イベントへの支援 ・自主防犯活動支援グッズの提供 ・府中防犯協会に対する補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域安全パトロールの支援 ・地域安全リーダーの育成 ・各種防犯情報の提供 ・防犯関連イベントへの支援 ・自主防犯活動支援グッズの提供 ・府中防犯協会に対する補助金の交付
【進捗状況】	目標以上に進んでいる	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 地域安全対策課	指標実績の結果を踏まえ、市民の防犯意識が向上し、自主防犯活動が活発に展開され、犯罪の少ない住みよいまちに向け順調に進捗しているといえる。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	10,760			
安全安心まちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ設置事業への補助 ・防犯カメラ維持管理事業への補助 ・既存防犯カメラ全交換に向けての支援 ・夜間パトロールへの参加と支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ設置事業への補助 ・防犯カメラ維持管理事業への補助 ・既存防犯カメラ全交換に向けての支援 ・夜間パトロールへの参加と支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ設置事業への補助 ・防犯カメラ維持管理事業への補助 ・既存防犯カメラ全交換に向けての支援 ・夜間パトロールへの参加と支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ設置事業への補助 ・防犯カメラ維持管理事業への補助 ・既存防犯カメラ全交換に向けての支援 ・夜間パトロールへの参加と支援
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
生活環境部 地域安全対策課	最大の懸案事項である、防犯カメラの全交換に向けた計画も動き出し、それに伴い団体の活動も活発化している。新規会員の獲得等を実現し、資金面の問題も解消されつつある。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	2,560			
【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度		H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 防犯意識啓発事業	30		2,428,000	2,348,611	3,151,000	防犯意識の啓発	B	1
2 防犯灯維持管理事業	30		66,508,000	74,766,169	69,423,000	市内防犯灯設備の整備	B	1
3 安全安心まちづくり推進事業	30		790,000	790,000	1,040,000	安全・安心まちづくり推進地区内の防犯カメラ設置者、維持管理者に補助金を交付する。	B	1
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			69,726,000	77,904,780	73,614,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	037	危機管理対策の強化				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			主担当部課名	行政管理部 防災危機管理課
	基本施策	06	災害対応能力の向上			
めざす姿	市民一人ひとりが日頃から災害に備えるとともに、自助・共助について理解し、大規模災害時には、市民自らが的確に行動できるようになっています。また、市では、災害応急対策を迅速に実施し、被害を最小限に抑える態勢が整っています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	130,931,000	133,552,000	95,939,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	5,625,000	5,625,000	5,625,000			
市債	24,000,000	25,000,000	7,000,000			
その他	19,591,000	13,108,000	13,097,000			
一般財源	81,715,000	89,819,000	70,217,000			
予算現額	134,742,000	133,552,000	0			
決算額	106,294,566	93,335,392	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	16,500,000	16,900,000	0			
その他	16,500,000	16,900,000	0			
一般財源	87,063,581	76,409,402	0			
執行率	78.9	69.9	0.0			
(人件費)						
職員数	7.07	5.42	0.00			
職員人件費	56,470,053	40,859,528	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	660,174	589,579	0			
総コスト	163,424,793	134,784,499	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
日頃から家庭で災害に対する備えをしている市民の割合	-	実績	62.2	-	-	-	80
	%	達成率	77.8	0.0	0.0	0.0	
「避難所運営マニュアル」が策定された一次避難所数	-	実績	15	-	-	-	34
	か所	達成率	44.1	0.0	0.0	0.0	
災害時の避難場所を知っている市民の割合	77.9	実績	81.1	-	-	-	90
	%	達成率	90.1	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

災害に対する日頃からの備えや、避難場所の周知について、概ね順調な数値を示している。「避難所運営マニュアル」については、現時点では、マニュアル(案)の着手中を含め約半数の学校で作成されている。今後、計画期間中に目標値が達成できるよう、引き続き、マニュアル(案)策定について支援していく。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	平成27年3月に全世帯に防災ハンドブックを配付し、市民の防災意識の啓発を図った。			
達成できていない点	避難所運営マニュアルの作成を進めているが、まだ、約半数の学校で作成できていない。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>地域での防災訓練への地震体験車の派遣や、試食用の備蓄食料の提供、普通救命講習のテキスト代の助成、防災知識講座の実施等により、地域防災力の向上を図るとともに、水防訓練、総合防災訓練等を実施し、防災関係機関の災害対応能力の向上を図った。また、平成27年3月に全世帯に防災ハンドブックを配付し、市民の防災意識の啓発を図った。</p> <p>避難所運営マニュアルの策定に向けて、平成27年1月に各学校等に避難所運営マニュアル（案）の作成を依頼し、現在、着手中を含め、約半数の学校で避難所運営マニュアル（案）が作成されている。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>現在、作成に着手中のところも多いため、避難所運営マニュアル（案）の作成については引き続き支援していく。また、各町の自主防災組織の代表37名から構成する「府中市自主防災組織連絡会議」を設置し、市の防災施策についての説明や講演会等を行って地域防災力の向上に努めてきたが、今後は、より一層の地域防災力の向上を図るために、地域の特性に即した自主防災活動を行う組織づくりが求められている。</p>
今後の展開
<p>避難所運営マニュアルについては、今後、学校が策定した避難所運営マニュアル（案）を基に、地域の意見も踏まえたうえで全ての一次避難所ごとの避難所運営マニュアルの策定を目指していく。地域の特性に即した自主防災活動を行う組織づくりを目指すため、自主防災組織を文化センター圏域に分割することで、そのスケールメリットを活かして、地域の特性や課題について、情報共有を図りながら課題解決に努めるとともに、地域防災力の向上を図っていく。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
防災意識啓発事業	テレビ広報を通じて、防災ハンドブックのPRを行い、市民のさらなる防災意識を高めていく。総合防災訓練や合同水防訓練を年1回実施するとともに、自治会や事業所等が実施する防災訓練へ地震体験車や防災講話の講師を派遣するなど、地域防災力の向上に向けた各種支援を行う。	テレビ広報を通じて、防災ハンドブックのPRを行い、市民のさらなる防災意識を高めていく。総合防災訓練や合同水防訓練を年1回実施するとともに、自治会や事業所等が実施する防災訓練へ地震体験車や防災講話の講師を派遣するなど、地域防災力の向上に向けた各種支援を行う。	総合防災訓練や合同水防訓練を年1回実施するとともに、自治会や事業所等が実施する防災訓練へ地震体験車や防災講話の講師を派遣するなど、地域防災力の向上に向けた各種支援を行う。	総合防災訓練や合同水防訓練を年1回実施するとともに、自治会や事業所等が実施する防災訓練へ地震体験車や防災講話の講師を派遣するなど、地域防災力の向上に向けた各種支援を行う。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
行政管理部 防災危機管理課	これまでの意識啓発事業に加えて、防災ハンドブックを全世帯に配布したことにより、市民から好評を得ている。今後は、テレビ広報「まるごと府中」や防災講座などを通じて、市民のさらなる防災意識を高めていく。			
事業種別				
重点プロジェクト				
4か年事業費計(単位:千円)				
	32,716			
防災資材等整備事業	地震等の災害に備え、非常食や災害対策服、医療資器材等を購入し、防災資機材の計画的な整備に努める。	地震等の災害に備え、非常食や災害対策服、医療資器材等を購入し、防災資機材の計画的な整備に努める。	地震等の災害に備え、非常食や災害対策服、医療資器材等を購入し、防災資機材の計画的な整備に努める。	地震等の災害に備え、非常食や災害対策服、医療資器材等を購入し、防災資機材の計画的な整備に努める。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
行政管理部 防災危機管理課	地震等の災害に備え、非常食や災害対策服、医療資器材等を購入し、防災資機材の整備に努めた。			
事業種別				
重点プロジェクト				
4か年事業費計(単位:千円)				
	64,244			
【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度		H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 防災会議運営事業	20		114,000	102,936	193,000	防災会議及び地震部会運営	B	1
2 防災意識啓発事業	20		19,018,000	16,344,367	8,344,000	市民の防災意識を向上させるとともに、防災関係機関の災害対応能力の向上を図る。	A	
3 地域防災計画策定事業	10		0	0	0	国による法律改正や都の防災計画の修正にあわせ、府中市地域防災計画を修正する。	B	1
4 危機管理対策推進事業	10		92,000	4,000	48,000	国民保護事態等危機における態勢について整備を進める。	B	1
5 大規模災害時支給・貸付事業	10		19,500,000	0	19,500,000	災害救助法適用の大規模災害が発生した場合、災害弔慰金等の支給や災害援護資金の貸付を行う。	B	1
6 被災建築物応急危険度判定事業	30		33,000	25,990	22,000	東京都防災ボランティア登録者による連絡会及び模擬訓練の実施	B	1
7 災害対策用設備維持管理・整備事業	20		53,187,000	46,183,991	21,597,000	災害が発生した際、応急対策等を行う上で必要となる施設・資器材等の維持管理・整備を行う。	B	1
8 災害見舞金等支給事業	30		700,000	50,000	650,000	火災等で被災した方に災害見舞金又は弔慰金を支給する。	B	1
9 緊急災害対策事業	30		1,000	0	28,000	大規模災害発生後の緊急災害対策として、公共施設等の各種復旧対策を実施する。	B	1
10 防災資材等整備事業	30		19,892,000	17,165,083	24,477,000	大規模災害や火災に備え、食料や医療資材、街頭消火器等の防災用資材を整備する。	A	
11 火災共済関係事業	30		7,426,000	1,245,100	7,440,000	火災等により被害を受けた方を互助救済するための火災共済事業の運営を行う。	B	1
12 中央防災センター管理運営事業	30		6,775,000	6,428,978	6,219,000	府中消防署と合築の中央防災センターの施設管理等を行う。	B	1
13 水防・防災ステーション管理運営事業	30		6,814,000	5,784,947	7,421,000	府中市水防・防災ステーションの維持管理を行う。	B	1
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			133,552,000	93,335,392	95,939,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	038	消防力の充実				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			主担当部課名	行政管理部 防災危機管理課
	基本施策	06	災害対応能力の向上			
めざす姿	市民一人ひとりが日頃から火災防止に心掛けています。 また、各種災害に迅速・的確に対応できる消防力を確保することにより、火災や地震、風水害などの災害から市民の身体、生命及び財産への被害が最小限に抑えられています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	2,881,184,000	2,912,189,000	2,865,395,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	61,700,000	37,000,000	48,000,000			
市債	0	44,700,000	44,700,000			
その他	0	0	0			
一般財源	2,819,484,000	2,830,489,000	2,772,695,000			
予算現額	2,782,609,000	2,845,027,000	0			
決算額	2,768,244,286	2,814,221,213	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	79,726,710	77,308,473	0			
市債	0	44,200,000	0			
その他	0	44,200,000	0			
一般財源	2,688,517,576	2,692,525,170	0			
執行率	99.5	98.9	0.0			
(人件費)						
職員数	3.13	5.78	0.00			
職員人件費	25,052,101	43,607,714	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	777,955	632,811	0			
総コスト	2,794,074,342	2,858,461,738	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
1,000世帯当たりの火災発生件数	0.9 件	実績	0.7	-	-	-	0.62
		達成率	88.6	-	-	-	
消防団員の定員充足率	99 %	実績	99	-	-	-	100
		達成率	99.0	0.0	0.0	0.0	
火災による死者数	1 人	実績	1	-	-	-	0
		達成率	0.0	-	-	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

火災については、市民の身体、生命及び財産への被害が最小限に抑えられるよう、消防署や消防団と連携を図り、地域の防災訓練や広報等を通じて、市民の防災意識の啓発に努めていく。消防団員の定員については、高水準を保っているものの、引き続き、定員の充足に努めていく。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	消防団の資質向上と消防活動の充実を図るため、東京消防庁と連携を図り、消火活動、防災訓練等を行った。			
達成できていない点	消防団員定員420名を、充足できなかったが、99%という高水準を保つことが出来た。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

消防団は市民の安心と安全を守るという重要な役割を担っており、地域にはなくてはならない組織である。消防署・市と連携し、一体となって、災害予防、応急対策を実施しなければならないことから、今後も現状の活動を継続しながら対応していく。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

東京消防庁による1本署、4出張所体制の常備消防と、18個分団による消防団の非常備消防により、消防・防災体制を整備している。しかしながら、消防団員の市外勤務者の増加などにより、平日昼間の火災等における出動に際し、団員の確保が難しくなることが想定される。また、消防団の活動に必要な車両や資機材の計画的な整備・更新が求められている。

今後の展開

自分の命は自分で守る「自助」、自分たちのまちは自分たちで守る「共助」の意識を持ち、家屋の耐震化や地域の防災訓練等に自発的に取り組んでいけるよう、市民の防災意識の啓発活動に努めていく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
広域的消防連携事業	東京消防庁に常備消防における消防事務を委託する。また、消防委託事務に伴う三多摩地区の常備消防運営に関する都の消防計画について都知事に意見を具申し、消防行政の円滑な運営と消防力の強化に努めていく。	東京消防庁に常備消防における消防事務を委託する。また、消防委託事務に伴う三多摩地区の常備消防運営に関する都の消防計画について都知事に意見を具申し、消防行政の円滑な運営と消防力の強化に努めていく。	東京消防庁に常備消防における消防事務を委託する。また、消防委託事務に伴う三多摩地区の常備消防運営に関する都の消防計画について都知事に意見を具申し、消防行政の円滑な運営と消防力の強化に努めていく。	東京消防庁に常備消防における消防事務を委託する。また、消防委託事務に伴う三多摩地区の常備消防運営に関する都の消防計画について都知事に意見を具申し、消防行政の円滑な運営と消防力の強化に努めていく。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署	-----		
	行政管理部 防災危機管理課			
	事業種別			
	主要な事務事業			
4か年事業費計(単位:千円)				
10,610,456				
消防団活動支援事業	消防団の規律厳正な行動と平素練磨した消防技術を披露することにより、消防活動に対する市民の認識と信頼を深めていく。また、消防団の資質向上と消防活動の充実を図る。	消防団の規律厳正な行動と平素練磨した消防技術を披露することにより、消防活動に対する市民の認識と信頼を深めていく。また、消防団の資質向上と消防活動の充実を図る。	消防団の規律厳正な行動と平素練磨した消防技術を披露することにより、消防活動に対する市民の認識と信頼を深めていく。また、消防団の資質向上と消防活動の充実を図る。	消防団の規律厳正な行動と平素練磨した消防技術を披露することにより、消防活動に対する市民の認識と信頼を深めていく。また、消防団の資質向上と消防活動の充実を図る。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署	-----		
	行政管理部 防災危機管理課			
	事業種別			
	主要な事務事業			
4か年事業費計(単位:千円)				
434,084				
消防団ポンプ車更新事業	消防ポンプ車が経年劣化により走行不能及び操作不能になる前に更新を行う。	消防ポンプ車が経年劣化により走行不能及び操作不能になる前に更新を行う。	消防ポンプ車が経年劣化により走行不能及び操作不能になる前に更新を行う。	消防ポンプ車が経年劣化により走行不能及び操作不能になる前に更新を行う。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署	-----		
	行政管理部 防災危機管理課			
	事業種別			
	主要な事務事業			
4か年事業費計(単位:千円)				
0				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度		H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 広域的消防連携事業	20		2,659,442,000	2,590,321,000	2,590,313,000	東京消防庁へ消防事務委託、三多摩地区消防運営協議会へ運営負担金及び東京市町村総合事務組合へ	B	4
2 消防団活動支援事業	30		121,512,000	115,269,933	145,861,000	消防団の火災等災害活動、警戒活動、防災訓練指導、資機材整備、運営補助、福利厚生等	A	
3 消防施設維持管理・整備事業	30		70,894,000	49,045,920	68,880,000	消防水利標識や消火栓、防火貯水槽、防災センターの維持管理等を行う。	B	3
4 消防団広域連携事業	30		641,000	640,300	641,000	都内及び三多摩地区消防団相互の連絡協調及び消防団の活動強化	B	1
5 消防団ポンプ車更新事業	30		59,700,000	58,944,060	59,700,000	消防団ポンプ車の更新	B	1
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			2,912,189,000	2,814,221,213	2,865,395,000			